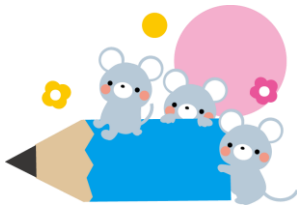


こんかい 今回のテーマ



ぶん ぶん ぶんぼうぐ☆



かきたいなかきたいな

いのうえ 井上 コトリ/作
アリス館 E/アリ/14-18X24

ここはぶんぼうぐのくにです。筆入れのバスにゆられてやってきたのは、赤色えんぴつのあかいろちゃん。あかいろちゃんは、かける場所を探してカタカタカタッと足ぶみします。

そこへ、シュパシュパシュパッと足音が近づいてきます。誰だろう？それはものさしの足音！どンドン歩いていくと、いろいろな文房具たちに出会います。

文房具たちのかわいい世界を、一緒に旅してみませんか？

まっくろけまっしろけ

マックス・アマー/さく・え
いけもと なおみ/やく
潮出版社 E/ウシ/19-29



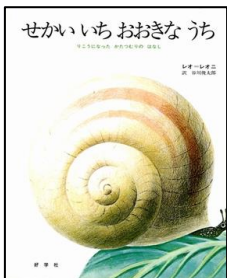
みなさんは、なにが好きですか？花？動物？

この本に出てくるけしごむくんが好きなものは、「真っ白い紙」です。えんぴつくんが書きたくねくねの線や黒い丸を消してしまうほど大好きなのです。

一方のえんぴつくんは楽しいことが大好き。けしごむくん「あっちにいて！」って言われてもいろいろなものを描き続けます。はたしてこんな正反対の二人がなかよくなる時は、来るのでしょうか…？

けしごむくとえんぴつくんのやりとりが、とても可愛い作品です。

ボランティアさんのおススメ本



せかいいちおおきなうち

レオ・レオニ/作
谷川 俊太郎/訳
好学社 E/コウ/R

「大人になったら世界一大きなうちが欲しいな」とつぶやいたちびカタツムリに「邪魔にならないようにうちは軽くしとくんだよ」とお父さんカタツムリがいます。

そして、世界一大きなうちを持ったばかりに家の重みに身動きのできなくなったカタツムリの話を聞かせます。

動物を愛したレオ・レオニの視点を幻想的に表現しています。

(まほろば)

としょかん じどうしつ 図書館の児童室コーナーにある

オススメの本を紹介します。



しろいかみのサーカス

たにうち つねお/さく
いちかわ かつひろ/しゃしん
福音館書店 E/フク/18-21X24

いまここに紙があったら、何に使いますか？文字や絵を書くという人が多いでしょうか？工作の材料や、おりがみとして使う人もいます。この本『しろいかみのサーカス』は、白い紙を使ってあそび写真絵本です。白い紙をハサミでチョキチョキ切ったり、くるくると丸めたりしたら、どうなるのでしょうか？あなたも紙を用意して、ぜひためしてみてください。この本に出てこない遊び方をさがすのも楽しいですよ。

はらぺこたらたとふしぎなクレヨン

あまん きみこ/作
ひろせ げん え 広瀬 弦/絵
P H P 研究所 E/ヒエ/15-24



ある日、おいしいからクレヨンを見つけたチイばあちゃん。さて、なにをかこうかしら と、かんがえていると、とらねこたらたが「はら、ぺこぺこ」とおおさわぎ。それならとチイばあちゃんが赤いクレヨンで画用紙にタイをかいてあげると、なんととらたはぱっくん ごっくん とクレヨンのタイをたべてしまいました。そとにでたらたは、なぜだかふつうのとらねこからあかいしまねこの姿になり、林のほうへとことこはしていきます。チイばあちゃんにとらたは、はたしてまた会えるのでしょうか？

名コンビがくりひろげる冒険を、お楽しみください！



そらとぶでんしゃ

アン マサコ/作
講談社 E/コウ/15-27

男の子はぎゅうにゅうパックで、でんしゃを作りました。あとは色をぬるだけ…というところで、赤いクレヨンが話しはじめます。クレヨンにさそわれた男の子は、ほかのクレヨンたちといっしょに、ぎゅうにゅうパックのでんしゃで、ぼうけんにでかけることに…。さて、どんなぼうけんになるでしょう？

アンマサコさんの絵は幻想的で、読んでいると絵本の世界に遊びにいらしている気持ちになります。

あなたも絵本の世界に、おでかけしてみませんか？

春日井市図書館・児童室のご案内

開館時間：火曜日～日曜日 午前9時～午後8時
休館日：月曜日（休日の場合はその直後の休日でない日）
電話 (0568) 85-6800